

QアンドA

Q 正月に神社やお寺、各家で餅や昆布を供える意味は何でしょうか。いつ頃から行われているのですか。



A 昔は本宅とは別に別棟があり、そこに海の幸、山の幸を豪勢にお祀りし、餅をついて供えました。これは、大晦日に私達の家を訪れるご先祖様方を迎えるため“お正月様”を迎えると呼ばれていました。今は盆だけしか先祖様を迎えませんが、昔はご先祖様は年に二度（盆と正月）に私達の家を訪れてたと言われていました。この風習は奈良時代から平安時代に行われていたとの事です。その後は次第にすたれて行きました。現代は床の間に餅を飾る事だけが当時の名残を伝えています。

合掌

阿字観瞑想、修行体験のご案内

私達は毎日生活に追われあくせくしております。仕事、受験、子育て、人間関係等でストレスを感じる事が多く、中には心の病を引き起こす人も多いようです。そのようなストレスを解消して、本来持っている活力を呼び起こすのが日常体験できないお寺での体験と思います。時間を作り、自然の中に身を置き、滝行、写経、瞑想（阿字観）を通じて心の疲労回復をしてみませんか。尚、今年4月より参加費が下記のとおり変更になりますので御了承下さい。



修行体験 毎月第1土曜（9時～17時）参加費 9,400 円
滝着レンタル 1,100 円

阿字観瞑想 随時 参加費 2,500 円



お知らせ

※ 長らく購読頂きました当山の弘法新聞は、インターネット等の普及、自然環境保護事もあり、今回をもちまして終了させて頂きます。今後は、当山のホームページやブログ（「住職のひとりごと」や「坊守のブログ」）にその役割を移行したいと思います。長い間のおつきあいありがとうございました。

※ 当山では、新年の家祓い、事務所祓いなどの出張も致しております。その他、車祓い、地鎮祭、仏壇開眼供養、葬儀、仏前結婚式、講演なども受け付けております。ご遠慮なくお申し出下さい。

※ 一口法話メール配信中 当山では、布教活動の毎週月曜から金曜の毎朝7時に皆様の携帯電話に一口法話を配信致しております。右のQRコードより当山ホームページに入り、メール会員にご登録下さい。
携帯 <http://www.just.7128023>

